



～ プログラム ～

1. 市長あいさつ
2. 事務局紹介
3. メンター職員自己紹介
4. メンバー自己紹介
5. 事業説明
6. アイスブレイク
7. ワークショップ
8. 発表
9. 次回お知らせ

～ 平川市ユース議会とは？ ～

1. 若者が地域の課題について話し合い、まちづくり施策を市に提案する活動です。
2. ワークショップやフィールドワークを行いながら、施策の検討・設計を進めます。
3. 若い世代の人材育成と、地域への愛着心醸成も目的の一つです。
4. 昨年度は「ワーキンググループ」を立ち上げ、名称を「平川市ユース議会」に決定しました。
5. メンバーは、高校生・大学生・社会人（10代中盤～20代後半）です。



～ メンバー26名の構成は？ ～

1. 高校生10名、大学生8名、社会人8名
2. 平川市内在住25名、市外在住（平川市出身）1名
3. 経歴や、興味・関心のあるものは、人それぞれバラバラです。

でも、平川市への「熱い思い」は一緒です！！

～ 市長あいさつ ～



平川市は「子育てしやすい
さナンバーワンのまち」を
掲げてまちづくりに取りく
んでいますが、一方で人口
減少という課題もあります。

今年度からは高校生にも
参加してもらうことになり
ました。

若い皆さんで意見を出し
合っ、平川市をより良い
まちにしてもらいたい。



ワークショップの様子・メンバーの主な意見は
次のページをご覧ください。



ワークショップ

テーマ 「わたしたちが住みたいまち」って どのようなまち？

～ ワークショップ ～

4グループに分かれ「わたしたちが住みたいまち」について、考えを思い思いに付箋に書き、模造紙にまとめ、発表しました。



主な意見はこちら



教育・子育て

- 教育の機会が平等
- 教育の支援が充実
(進学を後押ししてくれると良い)
- 勉強スペースが充実
- 子どもたちの遊べる場所の充実
(公園や広場が充実すると良い)



発表

雇用・商業

- お金（経済力）がある
- 雇用がたくさんある
- 商業施設が充実
(カフェ・その他飲食・服・靴など)

生産・消費

- 食品ロスの削減
- 若者の農産物生産が盛ん
- 農業を身近に感じる



生活全般

- 世代に関わらず安心して過ごせる
- 交通機関が充実
- 買い物に困らない
- 夜道が明るく安全に歩ける
- 事件・事故が少ない
- 道の綺麗さなどのインフラの整備

まちづくり

- SDGsに貢献
(子ども食堂があれば良い)
- 空き家が少なくなるように活用
- 耕作放棄地を活用（宅地化など）
- ゴミの削減
- 世代間の交流が盛ん
- 公正で皆が意見を言える

技術

- SNSなどの情報社会の流れにのる
- フリーWi-Fiが充実

趣味・イベント

- 趣味を活発にできる
- 音楽に触れあえる
- 芸術・美術に触れあえる
- スポーツに気軽に触れあえる
- キャンプ場がある
- サイクリングができる
- イベントがたくさんある

自然

- 自然が豊か
- 空気がきれい
- 夕日がきれい
- 星空がきれい
- 水がおいしい

プロモーション

- 平川市の知名度向上
- 平川市のゆるキャラを広める
- インスタ映えスポットがある